科目名	専門演習Ⅲ　　Seminar III						
科目担当者	出山 実　　IDEYAMA Minoru						
単位数	4	配当年次	4年	授業形態	演習	開講学期	通年
履修学部・学科［区分] 他学部他学科履修	経営学部・経営学科［専門教育科目　演習］ 他学部他学科履修×					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	会計学の強みは、「測ることによって改善できる」ことです。近年の会計学の役割は、従来の利益計算や企業実態の報告だけにとどまらず、気候変動問題や人権問題、ガバナンス問題などを、どのように測って伝えていくのかという「企業と社会の持続可能性」にまで広がりをみせています。具体的には、新たな会計問題（持続可能 性に関するディスクロージャー(ISSB)、国際財務報告基準（IFRS）に関する会計学など）を研究テーマとして設定し、より深い学習へと段階を進めていきます。 専門演習Ⅲでは、現代会計の直面する諸課題を調査・研究し、卒業論文にまとめていきます。 各自、個別テーマに関するとりまとめを行い、卒業論文を完成させます。						
授業の到達目標	①「持続可能性に向けた経営と会計」をテーマにしたリサーチクエスチョンの設定から調査・分析、論文として書き上げる能力を身に付ける。						

授業計画・内容

1	オリエンテーション：卒業論文の書き方 ①	16	オリエンテーション：卒業論文の書き方 ②
2	卒業論文作成＜１＞資料収集	17	卒業論文作成＜13＞第３章の執筆
3	卒業論文作成＜２＞資料収集	18	卒業論文作成＜14＞第３章の執筆
4	卒業論文作成＜３＞問いの設定	19	卒業論文作成＜15＞第３章の執筆
5	卒業論文作成＜４＞問いの設定	20	卒業論文作成＜16＞第４章の執筆
6	卒業論文作成＜５＞全体像の作成	21	卒業論文作成＜17＞第４章の執筆
7	卒業論文作成＜６＞全体像の作成	22	卒業論文作成＜18＞第４章の執筆
8	卒業論文作成＜７＞第１章の執筆	23	卒業論文作成＜19＞「はじめに」と「おわりに」
9	卒業論文作成＜８＞第１章の執筆	24	卒業論文作成＜20＞「はじめに」と「おわりに」
10	卒業論文作成＜９＞第１章の執筆	25	事前審査＜１＞
11	卒業論文作成＜10＞第２章の執筆	26	事前審査＜２＞
12	卒業論文作成＜11＞第２章の執筆	27	事前審査＜３＞
13	卒業論文作成＜12＞第２章の執筆	28	卒業論文報告会＜１＞
14	中間報告会＜１＞	29	卒業論文報告会＜２＞
15	中間報告会＜２＞	30	卒業論文報告会＜３＞

授業外学修 (事前学修)	卒業論文の作成課題を行う（2 時間)。
授業外学修 (事後学修)	卒業論文に関する指摘事項等の修正を行う（2 時間）。

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応

成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
卒業論文の作成	100%	①

成績評価基準

秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合
優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合
良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合
可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合
不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合

教科書	
参考文献	
その他	＜どのような学生の受講が望ましいか＞ ・会計の分野に興味がある学生・応用レベルの会計知識を身につけたい学生 ・将来、経理・財務担当者、銀行員、商業科の教員になりたい学生 ＜あらかじめ受講して欲しい科目＞ 会計学、簿記論（or 上級簿記)、経営分析、財務諸表論、管理会計論、原価計算論、会計監査論、税務会計論、環境会計学